

Mobile Finder(V1.0.4)

国内アワードを FT8 で集めている局長さんへのお助けマンアプリ Mobile Finder を作ってみました。

国内アワードに挑戦しているとき、移動局が移動先の JCC/G コードを流してくるのを、WSJTX/JTDX が 15 秒毎に表示する沢山の行を見落とさないよう目を凝らして画面を眺めているのは結構厳しいです。さらに、アワード集めには固定局の QTH がそのアワードに必要な場合も有り得ます。

WSJT-X/JTDX が発信している UDP 信号を受信して、JCC/G コードを発している行のみをピックアップしてリストアップすると同時に、固定局のコール（新規受信のみ）を表示させるアプリを自作しました。

私個人的に楽にアワードを集められる様に作ったので、一般に発表するつもりはありません。

アワードを楽しんでいる友人にもこのアプリを教えて頂いても結構ですが、このアプリは、あくまで、プログラムの素人が作ったので、どのようなバグが有るのか、あるいは PC への影響が出るのか分かりませんから、作者はいかなる損害にも免責とさせていただきます。このことをご承諾いただける方のみ自己責任でインストールして、お使いいただければ幸いです。

インストールは簡単です。Zip ファイルを解凍して出てきた MobileF_Setup.msi をダブルクリックすればインストールが始まります。

注：古いバージョンが既にインストールされている場合は、MobileF_Setup アプリを先にアンインストールを済ませてください。

画面の説明

左枠は、移動局が発した移動先 JCC/G 情報を受信したのを表示します。各行は、左から JST 時：分に続き、4 桁の数字は受信した FT8 音の周波数です。その右側が受信した内容です。各局が移動先を発信している形態は微妙に違ってきます。でも、よく見ればお判りいただけますよね。ここで表示された JCCG コードをハムログの入力画面の CODE に書き写し、下向き矢印を押して、アワードに該当する局かどうかを判断します。

次に、固定局チェック機能について説明します。

右側枠には 15 秒毎に受信した固定局のコールをピックアップして表示させています。“H”ボタンをクリックすると、一覧表示されている一番上のコールサインをハムログ入力画面に転送します。この局の JCC/G 情報を得ると同時に重複チェックも出来ます。H ボタンは 1 秒以上間隔を開けてゆっくり押しましょう。

一旦ここに表示され、H ボタンを押して検索が済んだ局は、それ以降に受信しても表示されない様にしていますが、旨く交信できなかつたりした場合に、また聞こえたときにもう一度一覧表示して欲しいことがありますので復活ボタン新設しました。復活ボタンを押してください。

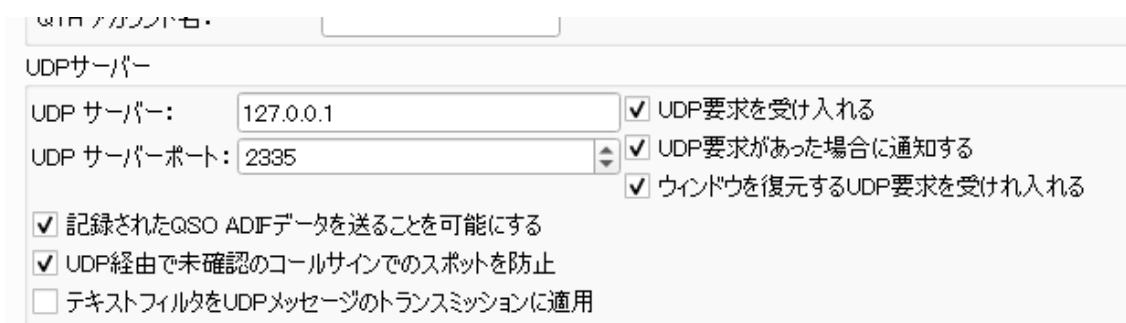
なお、H ボタンの横には **C** ボタンがあります。これは、固定局の一覧表示を一旦消去して、新たに受信を始めるのに使います。1 局交信が終わる間にも、多くの固定局が表示されますから、一番上に表示されている局のコールは数分前の受信なので、新しい情報ではありません。ここは、一旦すべて消去して、今受信したばかりの局を表示させた方が、より効率的に探せます。

ところで、アワード収拾を効率よく行うには、参加しているアワードに該当する JCC/G の TXT ファイルをあらかじめ作成し、ハムログと関連付けしておけば、その局の市区町村が該当すると、ポップアップされるので、すぐに交信体制に入れます。(この TXT ファイルの意味が分からない方は、お友達に聞いてセットしてください。)

受信のための準備

WSJT-X/JTDX と JTAAlertX を既にお使いの方は、次ページの②から先に進んで設定してください。①は不要です。

①WSJT-X/JTDX とも UDP 信号を発信するように、セットする必要があります。 JTDX を例にして説明します。



WSJT-X/JTDX

UDPサーバー

UDP サーバー: 127.0.0.1 ☒ UDP要求を受け入れる

UDP サーバーポート: 2335 ☒ UDP要求があった場合に通知する

☒ ウインドウを復元するUDP要求を受け入れる

☒ 記録されたQSO ADIFデータを送ることを可能にする

☒ UDP経由で未確認のコールサインでのスポットを防止

☐ テキストフィルタをUDPメッセージのトランスミッションに適用

JTDX のファイルから設定を押して、設定画面を開けます。レポートイングタブを開けると中ほど下に上記の画面が出ます。

☒UDP 要求を受け入れる

☒UDP 要求があった場合に通知する

☒ウインドウを復元する UDP 要求を受け入れる の 3 か所にチェックマークを付けてください。

次に、MobileFinder を起動させ、UDP Port No.に 2335 を入れて、一旦、右上の X 印を押して終了し、再起動させてください。次回からは 2335 は自動的にセットされます。

②JTAAlertX をお使いの方は設定の仕方が違います。

JTAAlertX の Setting 画面から Application へと進んで、WSJT-X/JTDX の文字をクリックします。

右側の Options の枠の、Resend WSJT-X UDP packets(received only)にチェックマークを付けます。

そして、UDP サーバーは 127.0.0.1 IP Address として、 UDP Port に 2336 と
セットください。JAlertX の設定画面は、Save ボタンを押してから OK を押
して閉じてください。そして、JAlertX を再起動させてください。

次に、MobileFinder を起動させ、UDP Port No.に 2336 を入れて、一旦、画面
右上の X 印を押して、再起動させてください。

これで、準備ができました。

UDP サーバポート番号は非常にきめ細かく取り決められ、我々が使える番号
はごく限られています。ポート番号は勝手な番号を使わないでください。

By JA3CLM

Dec., 2024